

フランク・ロイド・ライトの作品群が

世界文化遺産に

20世紀に活躍したアメリカの建築家、フランク・ロイド・ライト（1867 - 1959）の作品群8件が世界文化遺産に登録されたというニュースが2019.7.8に流れました。

2016年にも世界遺産にノミネートされましたが、ル・コルビュジエの建築群が登録された一方、ライトは、落選しました。今回ようやく登録が決定しました。

時間が経ちましたが、ライトについての思いを書いてみます。

大学時代、建築について天野太郎先生、樋口清先生、武藤章先生などに教わりました。

先生方は今はもう鬼籍に入られましたが、授業中、天野先生はアメリカに行きライトのタリアセンで直接建築について学んだ話をよくしていました。

樋口先生は、ライトやアアルトの翻訳の書籍を出していましたし、武藤先生はアアルトの下で仕事をし、フィンランドやアアルトのことを執筆していました。

そんな先生たちの下で教わった関係もあり、ライトについては強い思い入れがありました。

また遠藤楽先生は、天野先生と同様にライトの下で仕事をしてきた方で、先生の事務所にも何度かお邪魔したこともあります。

今NHKの朝ドラに出てくるアニメ会社の外観は、先生が設計した婦人之友社です。

こうした関係もあり、自由学園は、明日館の図面が失われているのでライト&遠藤新共同設計の自由学園明日館について復元可能な図面資料の作成を日本建築学会に依頼しました。

学会は、調査実測をやることになり、私も参加し、東京芸大の故奥村教授の指導のもと、1年に亘って実測と図面制作に関わりまし



た。独立後、建築の仲間たちとフランク・ロイド・ライト・ツアーでアメリカを巡ってきました。直にライトの作品を体験した感想は、有機的建築の思想はさることながら、設計のありようが自由な発想で軽快な感覚での作品の造りであることをとても強く感じました。

今回の登録された作品の他に、ジョンソン・ワックス社や旧山邑邸などが登録されることを期待したいところです。



フランク・ロイド・ライトの作品
世界文化遺産 8 件



ユニティ・テンプル



フレデリック・C・ロビー邸



タリアセン



バーンズドール邸



落水荘



ハーバート・キャサリン・ジェイコブス邸



タリアセン・ウエスト



グッゲンハイム美術館

上記の写真は、小俣賀裕氏が撮影したものをお借りし掲載させて頂きました。小俣氏にお礼申し上げます。